

PTA 研修便り

平成 29 年 8 月 29 日 発行

平成 29 年 7 月 7 日（金）「社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 支援センターさくら」へ
の見学会をおこないました。

当日の参加者は校長先生をはじめ、教員、保護者合わせて
18 名でした。

場所は JR 学研都市線 住道駅から徒歩 3 分、便利な立地
で周辺は広々としています。

運営法人である「大阪手をつなぐ育成会」の理念「障が
いのある利用者本人が望む生活を実現させる」に基づいた
支援事業活動をおこなっています。

見学会の報告

1. グループホーム

概要

グループホームとは、利用者が世話人や生活支援員の支援を受けながら数人（2～6 人）で
暮らすところです。以下は支援センターさくらの状況です。

○住居 府営住宅の一室、民間マンションの一室、支援センターさくら内の施設
（個室・通過型）の 3 タイプ。

○費用 1 ヶ月朝夕食費込みで 6～7 万円くらい（民間マンションはもっと高いところも
ある）。家賃補助が 1 万円あり。

○世話人 食事、掃除、洗濯などの身の回りの世話をしてくれる。
朝（6 時～9 時）と夕方（17 時～21 時）出勤。

○生活支援員 個別の支援計画（半年に一度更新。本人の希望に寄り添い具体化する）を作
成し、その他利用者に代わって市役所等での手続きや外部団体との手続き、交渉
をおこなったり薬の管理をおこなったりすることもある。

○金銭管理

ポケットマネーは自己管理、年金とお給料は
保護者が管理（親が管理する場合と後見人が
管理する場合がある）なので、支援員は保護
者と相談して日々の昼食代やお小遣いなど
を渡している。

○世話人・生活支援員合わせて 50～60 人で
利用者約 90 人のバックアップをしている。



見学

①府営住宅タイプ

支援センターさくらの目の前にある府営住宅内で5部屋、15名が生活をしている。

○府営住宅は抽選で入居が決まるので、部屋の位置はばらばら。

○3LDKを3人でシェアしている。各自の部屋は4.5畳～6畳で、狭い部屋ほど家賃は安い。他のホームでは例えば2人部屋や個室のところもある。

○食事は朝夕世話人が来て調理する。食材は業者（ヨシケイ）に発注、世話人の買い物の負担が減り、メニューの偏りが無くなるなど栄養管理もできる。出勤が早い人がいる場合は朝6時の食事でも対応してくれる。火元の管理は重要なので、利用者自分で調理をしてはいけない。レンジやポットは利用できる。

○毎日FAXで事務所に日常を報告する。「報告・連絡・相談」ができる環境を維持している。

○夜間は職員が不在のホームもあるが、緊急時はセンターや中継地点に電話をするか、近隣の職員常駐のホームがある場合は直接そこへ行くなどしている（対応が難しい人は職員常駐のホームに入るようにする）。

○現在利用者の高齢化がすすんでいて、お元気なら70歳代でグループホームで生活している人もいる。親が亡くなった場合でも、法人が利用者本人の望む生活を実現させるという理念のもとに支援して行くので安心してほしい。

○ここの1ヶ月の費用は家賃9,000円台～12,000円台プラス諸経費と朝夕食費合計で45,000円～50,000円ぐらい。家賃補助1万円あり。

②センター内施設タイプ（「ホームズなでしこ」）

「通過型の施設」としている。なるべく2～3年で他のグループホームへ移行できるように支援しているが、年限はないのでなかなか空きは無いし、いつ空きがでるとも言えない。他のホームへの移行は本人の希望を優先するが、生活のスキルが高くて不安要素が勝る場合など個人の状況に対応している。

○定員は男性10名、女性9名。

6畳の個室、玄関、風呂、トイレ、食堂など全て男女別。

○食事は朝夕とも業者が食堂で調理して提供。昼食は各自。

○入浴は先着順で一人ずつ。

○洗濯は基本は自分ですが世話人が手助けすることもある。衣類の購入や入れ替えは自分です（自分でできない場合は親と相談するが、世話人・支援員の判断によることもある）。

○掃除は全て利用者が担当（分担制）し、いずれ自分で全てできるようになるための支援をする（きれいに掃除されていました）。

○1ヶ月の費用は家賃2万円とその他諸経費と朝夕食費を足して6万円～7万円ぐらい。家賃補助1万円あり。



2. 就労継続支援 A 型事業所（スワンカフェ＆ベーカリー）

概要

店舗でのパン製造及び接客業務（喫茶店）をおこなっている。現在 11 名が就労。指導員は 2 名。製造担当か接客担当か、は本人の得意分野で決める。約 90 種類のパンの値段を全部覚えている人もいる。勤務時間は午前 6 時から午後 8 時 30 分の 2 交代制。最近のパンブームで百貨店の催事場への出展が増えたので、3 交代で働いてもらうこともある。



見学

駅からの通りに面したお洒落なお店。パンを作っている様子はガラス張りの厨房なので外からも見える。明るい働きやすそうな環境。パンの種類が豊富で新商品も目を惹く。レジが混んでくると、すぐ指導員さんがフォローしていた。カフェスペースではソフトバンクの人型ロボット「PEPPER くん」がお出迎え。テラス席もあり。

午後 4 時頃だったがイートインしていくお客さんが何人もいました。

営業時間は平日 7 時 30 分～18 時 00 分、土曜日 8 時 30 分～17 時 00 分、日・祝日定休。

7 月 19 日（水）～7 月 24 日（月）阪急百貨店地下 1 階ベーカリースポットに出店。

3. 就労移行支援事業所

概要

企業での就労を希望している人に、期間を決めて（年限は 2 年）就労に向けた支援をする。定員 32 名。面接練習、履歴書の書き方、企業実習、パソコン講習、軽作業などをおこなう。

見学

広々としたスペースで何種類かの作業をおこなっている。見学者が入室すると挨拶をしてくれました。

○軽作業の種類は、ハンガーの組み立てと包装、物干し用ハンガーの成型（機械を使う）、紙製の防災ヘルメット作りなど。USJ のベンチのリペア（古くなったベンチを解体して、きれいにし、組み立てる）や洗車の作業もある。この日は洗車の見学はできませんでしたが、毎年 2～3 人は洗車で就労するそうです。

○ホワイトボードに今日の作業工程などが書いてあり、確認しながら作業する。

「ほう・れん・そう」が身につくように。

○利用者の日課（月～金）

8：45 通所、朝礼

9：25 作業開始 ～昼休み 1 時間～

15：45 作業終了、片付け掃除など

16：30 退所

4. 自立訓練

概要

自立した生活を送ることができるように、働くことや生活のためのいろいろな活動を経験しながら、生活する力や仕事をする力を身につけるための支援を、期間を決めて（年限は2年）おこなう。定員 18 名。自立訓練を2年間受けてから就労移行支援を2年受けることもでき、最長4年の支援を受けることができる。ソーシャルスキルトレーニング（挨拶など）・調理実習（一人暮らしで自炊ができるように、調理だけでなく買い物のスキルや金銭管理も身につける。畑で作った野菜を調理することもある）・ヨガなどで働くための体力づくり。

見学

就労移行の軽作業クラスの隣の部屋で、落ち着いて静かに作業をしていました。

みなさんの感想



- とても立派な施設でした。
就労移行の作業も役割を決めて「報・連・相」ができるように、就労するために皆さん頑張っていました。
- 建物の2階と府営住宅のグループホームを見せていただき、独り立ちするイメージを持つことができました。
- 独り立ちする準備として、洗濯、お小遣い帳、お昼ごはん（買い物など）はできるように

なることと、職場でもどこでも親以外の人に困っていることや思っていること、やりたいこと、などを伝えられるようになることが大切だな、と感じました。

- 支援計画も半年ごとのモニタリングをしっかりとくださるなど、安心できるとても良い事業所だと思いました。
- 良いところだけに、空きがなかなかないのが残念です。このような事業所が増えていった欲しいと思いました。
- 本日は見学ありがとうございました。駅から近く、とても明るくてきれいな施設でした。グループホームも見学させていただきましたが、部屋はとても片付いておりすっきりしていたので、普段の生活できちんとされているんだなと思いました。

○就労支援事業所も見せていただきました。
皆さんしっかりと作業されていました。
パン屋さん、カフェもあり、たくさんの方で
支えあっているのを感じました。
スワンカフェ＆ベーカリーはお勧めです。
パンを買って帰りましたがとてもおいし
かったです。
パン屋で働いている方を見て、こうやって
働けたらな～と思いました。たくさんの方の
支えがあることを思い、自分たちも頑張ろう
と思いました。またお願いします。



- 訪問系、居住系、日中活動系（就労継続支援 A 型雇用 B 型非雇用）など様々なサービスがあることを教えていただきました。さくらはとても明るくあたたかい雰囲気の中で包まれていて、安心感のあるところだなあと感じました。職員の方とても感じのいい方で、利用者の方々に寄り添う姿勢が素晴らしいと感じました。
- 立地条件も雇用に対する環境も整っていて、あのようなところが今後もっと増えてくれれば、親としてすごく心強いものにな、と思います。帰りに購入したパンもとてもおいしかったです。
- 学校を卒業するとサービス等利用計画を作っておかなければならない、作ったほうがサービス、支援をスムーズに受けられること、グループホームの具体的なこと、けいれん発作があっても入ることができる、などいろいろなことがわかり、とても良かったです。
- 本人は卒業後すぐに家を出たい、と言っており、困っていることを相談するべきかどうか悩んでいましたが、相談相手があると思うと親としても心丈夫です。
- 今回の見学会で支援センターさくらの仕事やグループホームを見ることができ、本当に良かったと思います。USJ からのベンチの修理やグループホームの支援体制など、勉強になりました。また、「手をつなぐ育成会」という大きな組織なので安心できる部分も多々ありました。ありがとうございました。
- 具体的な支援の様子や、支援員さんの考え（法人の理念、支援の方針）がわかって良かったです。半年毎に個別の支援計画を見直すなど、誠実に対応していただいていることがわかりました。施設も広々としてきれいで、利用者の方々が落ち着いて過ごされているように感じました。本当に、安心、安全な暮らしが保障されていることが何よりだと思います。



そのうえで、「本人の望む生活の実現」に向けて取り組まれている素晴らしいと感じました。今後もこのような機会にはぜひ参加したいと思います。ありがとうございました。